

「JIA文化財修復塾」2017年第3回現地講習

(公社)日本建築家協会 修復塾主催 ・ 関東甲信越支部目黒地域会後援

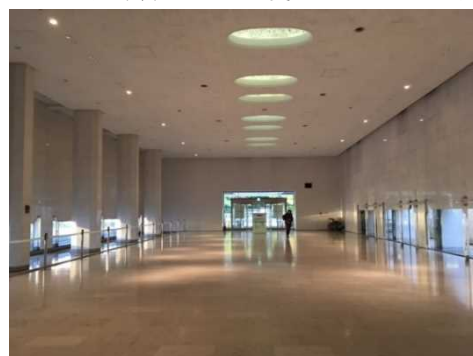
文化を継承していく為には、文化財建造物を修復・維持・活用していく必要があります。修復活用技術者を育成する為にJIAでは修復塾を開催しています。60時間のカリキュラム修了者は、JIA修復建築家(conservation architect)と呼ばれ、災害時の被災調査や修復指導だけでなく、平常時の維持管理やのほかに、学会と文化庁が戦後建築のデータ化を試みっていますが、その調査には、建築士会のヘリテージマネージャーと共に修復塾修了者が活動しています。このデータ化は、近現代緊急調査として、昨年神奈川県をモデルケースにスタートし、今年度、新たに奈良県が加わり、さらに次年度は鹿児島と静岡が加わる予定です。(修復塾の詳細は裏面を参照ください)

目黒区総合庁舎見学と意見交換会

2018年2月10日(土)

1966年竣工村野藤吾設計の千代田生命本社ビルは、バブル崩壊後当初用途での使用が困難となり、建物としての存続も危ぶまれて、当時JIA保存問題委員会でも議論されました。その後こうして民間建築から公共建築へと見事にコンバージョンし、使い続けて15年を迎えるこの建物の意義を探ってみたいと思います。この企画においては、区役所の当時の窓口担当であった濱出部長および改修設計者である安井設計のご協力を得ることができました。

エントランスホールは今も変わらず豊かで美しい



1階の待合から池越しに和室を見る



■第3回現地講習日程(当日連絡担当者:左 090-1817-8883)

集合: 9:30 エントランスホール(3階南口より)

時間: 9:30~16:40

場所: 目黒区総合庁舎(裏面地図参照)

会費: 4000円

対象者: JIA 会員・建築士会他一般の方
(CPD登録予定)

定員: 25人(定員になり次第締切)

9:35~11:15	・塾長挨拶 ・庁内見学	エントランスホール→屋上庭園→ 各階→茶室・和室	小西塾長
11:45~12:00	企画の運営側の立場からのお話	萩の間	濱出企画経営部長(目黒区役所)
昼食			
13:00~14:30	改修設計の実務的解説	E会議室	安井建築設計事務所
14:40~16:40	意見交換会(質疑応答を含む) 司会: 笠井三義修復塾委員	E会議室	加藤耕一(東京大学准教授・建築史家) 篠田義男(JIA 当時保存問題委員長) 加藤誠洋(JIA 現保存問題委員長)

第3回申込先: 公益社団法人日本建築家協会 原田譲治 FAX:03-3408-7129 E-mail:jharada@jia.or.jp

申込者氏名 _____ mail: _____

JIA 会員 No. _____ JIA文化財修復塾 履修済み回数 _____ 回

建築士会 No. _____ ヘリテージマネージャー取得 _____ 県 No. _____

■目黒区総合庁舎 東京都目黒区上目黒 2-19-15

東急東横線・東京メトロ日比谷線 中目黒駅より徒歩 5分



JIA文化財修復塾 年間予定表(1~9回各講座参加費4000円) ★ コーストリウム配信講座

日程	テーマ	講師名	単位数
第1回 ★	既収録 ①日本における文化財保存活用計画概論-① ②日本における文化財保存活用計画概論-② ③文化遺産と建築災害	北河文化財調査官 北河文化財調査官 後藤 治教授	(必須) 7
第2回 ★	既収録 ④国際文化遺産の保存活動の実態(ユネスコ等) ⑤文化財先進国の保存管理修復体制 ⑥庭園文化財	稲葉信子教授筑波大学 稲葉信子教授筑波大学 野村勘治京都市林泉協会副会長	(必須) 7
第3回 ★	既収録 ⑦修復の基礎知識と修復概論 ⑧伝統構法の修理の実際 ⑨伝統構法を支える材料と技術	長尾充教授 東京芸術大学院 上野幸夫教授 職藝学院 上野幸夫教授 職藝学院	7
第4回 ★	既収録 ⑩在来木造と伝統構法の構造と修理 ⑪非木造の構造と修理 ⑫保存を阻む法規と各助成制度	藤田香准教授 東京大学 長谷川直司建築研究所所属 小田嶋鉄郎横浜市整備局都市デザイン室	7
第5回 第6回 第7回 第8回	各支部・地域開催 現地講習1 現地講習2 現地講習3 現地講習4	各支部・地域開催の現地講習問合せ先 1・東北: 氏家清一 se.ujie@ujie-architect.co.jp 2・関東: 笠井三義 kad@inc.email.ne.jp 3・近畿(京都)長瀬博一 nagasehi@nifty.com (奈良) 上嶋晴久 hull@kcn.ne.jp 4・九州: 田島正 tajima@tajima-architects.com	26
第9回	3月未定 発表・講評		(必須)6
4月	修了認定委員会の開催		合計60
5月くらい	修了認定書の発行		

※HM 既受講者は、必須と記載されたコースのみが受講対象となります。